

【事業概要】

北本市のインフラを活用した地域共生型物流基盤構築事業

北本市

※国土交通省「地域の事業者間連携を通じた物流生産性向上推進事業」

背景・目的

- 人口減少・少子高齢化が進んでいる状況において、物流の機能を持続可能な生活インフラとして再定義し、行政・住民・民間企業が連携した活気あるコミュニティの創出を目指す新しい街づくり

事業の3つの柱

① 共同物流による環境負荷軽減と効率化

- 物流生産性の向上
- 不在荷物の集約・再配達効率化
- 北本市内にて共同配送の展開
- 次世代モビリティとロボットの導入
- 環境負荷の低減（CO₂削減）：
EV車両全面導入、
トラック総数削減



② 拠点の多機能活用によるコミュニティ形成と買い物支援

- 利便性の向上（宅配便発送・引取）
- 談笑スペース設置・イベント開催
- ミニ図書館コーナーの設置
- 買い物支援：
ネットスーパー等との連携
- 特産品「トマト」の高付加価値化・マルシェ開催



③ 地域雇用の創出と持続可能な福祉社会の実現

- 多様な職種の雇用創出：配達、ロボット監視、拠点管理等
- 高齢者・障がい者の就労支援とUR連携
- 超高齢社会における持続可能な産業モデル
- 顔の見える関係性の構築：防犯・見守り機能強化



コミュニティ新拠点

【今年度の取組】

- 配送効率化・トラック削減によるCO₂削減効果の試算
- コミュニティスペースの活用方法・定例イベント企画の立案
- 地域住民（高齢者・障がい者）の雇用スキーム・
- 小売店等パートナーとの買い物支援役割分担の協議

期待される効果

物流	再配達の効率化とEV導入により、CO ₂ 排出量を大幅に削減
コミュニティ	拠点活用により、住民の利便性と交流を促進し地域の魅力を向上
雇用・見守り	高齢者等の雇用創出と見守り強化により、持続可能な社会の構築に寄与